

美国总统就任演说7 PDF转换可能丢失图片或格式，建议阅读原文

https://www.100test.com/kao_ti2020/245/2021_2022__E7_BE_8E_E5_9B_BD_E6_80_BB_E7_c105_245737.htm 7. ロナルド#12539. ステニス上院が今日ここに出席されていれば、よりきをましたことでしょう。神のご加がありますように、そしてようこそここに。ただ、今日われわれと一に同席していない人が一人います。フジル#12539.ワシントンがに手を置いたとき、かれは粗野な未の荒地からで1日ほどの所に立っていました。当は13の州に400万のアメリカ人がいましたが、今日50の州にその60倍の人々がいます。われわれが明したもので世界を照らし、世界中どこへでも助けを求める声がするところに行き、月に旅行し事にもどってきました。それほどの化があったのです。それにもかかわらず、われわれは2世前と同じように一にここに立っています。私が4年前に誓ったときは、的なる重の中にいました。大さと光に彩られた去を振り返らなければならないといった声がまわりから上がっていました。しかしわれわれ、在のアメリカ国民は去を振り返る必要はありません。このめぐまれた国土には、常によりよい明日があるのです。4年前、私はあなたがたに新しい始まりについてり、われわれはそれをなしとげました。しかしある意味では、われわれの新しい始まりは、2世前に史上初めて人民の政府がわれわれの主人ではなく、われわれに仕えるものとなったときからの々たるなりなのです。政府こそが、われわれ人民が力をもつことをす唯一のものなのです。このシステムはしてわれわれ

の期待にそむくことはなかった。ただには、われわれはシステムの用に失しました。われわれは政府には供できないようなものを政府に求めたのです。われわれは、本当は州や自治体や人民自身に属するはずの力を、国一致政府にまかせてきた。われわれは税金やインフレがわれわれから稼ぎや金を盗むままにし、われわれを地球上でもっとも生力のある国民にしてきた大なるがスロダウンし、失者数が加するのを守ってきたのだ。1980年までには、われわれは信条を新たにするときであることを知っていました。われわれの全ての力をふりしぼって、人の自由が秩序ある社会と和する最段を目指して。われわれは当も今もこういうことを信じていた。男女が自由に自分のを追い求めれば、展と人のには限りがないということ。そしてわれわれがそのことを信じたのは正しかったのです。税率は低くなってきて、インフレは的に沈静化した。そして史上かつてないほど失率は低くなっている。われわれはこの国をふたたび活にちた、で、生き生きとした所としていこう。だが、まだ登るべき山は多い。われわれは、全てのアメリカ人が自由や尊や会を存分に生まれながらの利として享受するまで休息することはない。それは、この大な共和国の市民としての生まれながらの利であり、われわれはこの目を成しななければならない。アメリカ人がの自信やをとりもどすまでには、何年もかかることだろう。そのときには、われわれは信仰、家族、仕事、人のを代のものとして取りす。そのときには、われわれはを政府の制下から最的に解き放つ。そのときには、われわれが重要な兵器削、防との再、そして

新しいテクノロジーを展させるのに真な努力をして、トラブルにみちた世界で平和を保つ助けとなる。そのときには、アメリカ人が勇をもって世界中の自由、自治や自由な取の性への努力を支持したり、史の潮流を全体主の暗から人の自由の温かい日ざしへとえるのだ。わがアメリカ国民よ、われわれの国は大きにえなければならない。われわれは自身で正しいと思うことをしなければならぬ、神の助けをかりてそれをしなければならぬ。史がいうように「黄金のあった、アメリカ独立争が再生したとき、自由が新しい生命をえたとき、アメリカがベストをつくそうとしていたとき」われわれの2大政党制は、何年ものあいだすばらしく能してきたが、われわれが民主主か共和主かではなく、共通の大の下に束したアメリカ人として集まったときほどすばらしいチャレンジをしたときはない。われわれの建国の父たちの2人、アダムという名前のボストンの弁士とジェファソンという名前のヴァージニア入植者、インディペンデンスホールでそのをみて、彼らは世界を再び始めることができるだろうかと考えたりさせるあの著名なグループのメンバは、われわれに重な教を残してくれました。かれらは1800年の大では政治的に立するになっていました。それから数年後、2人とも引退して、年をとって怒りもおさまり、2人は文通でお互いにをはじめました。このわれわれの政府をくのに力をした2人のに再びきずながもどったのである。1826年、独立宣言の50周年に、2人はともになくなりました。2人は同じ日に、数差でなくなりました。その日は7月4日でした。2人が年に交わした手の

一通では、ジェファソンはこういています。「わたしはあのときのことを思い出す。困と危にちていたが、われわれは同じ大の下に集まった同志で、人にとって、もっともがあるもの、つまり自治の利を求めてしたときのことを。いつも同じオルをもって取りみ、行く手にはわれわれをみもうとする波があるが、でのりきってきた……われわれは心からんであらしをり切ってきました」さて、心からんで、一人の人として今日立ちあがる。神の下の一の人として、われわれの将来がわれわれの去にするものであるように心しよう。われわれがそうすれば、去の善意によるエラをくりかえすことはない。われわれはく男女の信に、かれらの稼ぎをうぬぼれた邦の支配者の限なく要求されるものがむだに追い求められて、再びつけこむようなことがあってはならない。あなたがたは、1980年にこの失する方をやめさせるためにわれわれをでんだ。あなたがたが、われわれをその流れを逆行させるために1984年に再させたとは私は信じない。われわれの努力の本は、25ヶ月の成によって正しいと明されている。自由とインセンティブは、人の化の本である推力と企家の精神を解き放つ。われわれはその仕事、蓄、投からもたらされる酬をふやしはじめてきた。われわれはコストの加や政府の大きさ、人々の生活への干の加を少なくしはじめてきた。われわれは、税制を素化しなければならない、より公正なものとして、全てのいて酬を得るものにして税率をさげなければならない。われわれは、改めて考え直して大胆に行しなければならない。そして仕事を求めている全てのアメリカ人が、仕事をつけられる

ようにしよう。そしてわれわれのものが大なることをなしとげる、つまりわれわれの病をいやすヒ口になり、空腹をたし、国と国の平和を保ち、この世界をよりよい所にする、ことをなしとげる平等なチャンスをもてるようにしよう。新しいアメリカの奴解放のときがきている。国家をあげて、の障壁を取り除き、われわれの国でもっとも困している地域において企心をときはなつことを推するときが。わが国民よ、ともにこれをなしとげよう、なしとげなければならない、そして神が助けてくれるだろう。成への新しい会は新しい自由から生まれるだろう、それはより生的で、充して束した人々、そしてよりいアメリカ人であり、テクノロジー革命を先し、精神と心と魂を文学、音、の宝や信仰、勇、そしてのへとくアメリカ人である。 100Test 下载频道开通 , 各类考试题目直接下载。详细请访问 www.100test.com